



議会だより

たむら

2019
第59号

令和元年11月1日発行



— もくじ —

30年度決算の概要	2
9月定例会のあらまし	6
14名の議員が市政を問う	9
各常任委員会活動報告	17
議会事務局からのお知らせ	19
シリーズ「市民の声」「若者の声」	20

10/5 滝根幼稚園運動会

平成30年度決算を認定！！

平成30年度田村市一般会計、各特別会計歳入歳出の決算認定及び水道事業会計の決算認定の議案が提出され、原案のとおり認定しました。田村市議会の決算審査は、特別委員会に付託し審査を行っています。(詳細は下表、3ページ、4ページ及び5ページのとおり)

○平成30年度一般会計歳入決算

一般会計歳入内訳	平成30年度決算額	構成比
地方交付税	94億1133万円	26.18%
国庫支出金	72億1868万円	20.08%
市税	38億 20万円	10.57%
繰入金	23億6871万円	6.59%
県支出金	84億7117万円	23.57%
市債	10億9820万円	3.06%
繰越金	13億1946万円	3.67%
諸収入	4億2909万円	1.19%
使用料及び手数料	2億8901万円	0.81%
財産収入	1億 310万円	0.29%
分担金及び負担金	2億1310万円	0.59%
寄附金	1億8739万円	0.52%
その他 (地方消費税交付金、地方譲与税など)	10億3590万円	2.88%
合計	359億4534万円	100.00%

○平成30年度各特別会計歳入歳出決算

会計名称	歳入決算額	歳出決算額	
特別会計	国民健康保険	42億3812万円	41億3471万円
	介護保険	42億6772万円	40億5540万円
	後期高齢者医療	3億7419万円	3億7369万円
	滝根町観光事業	5億7079万円	5億4287万円
	農業集落排水事業	2563万円	2563万円
	公共下水道事業	10億 894万円	9億5858万円
	授産場事業	6426万円	6330万円
	診療所事業	2億2666万円	2億2666万円
	計	107億7631万円	104億1084万円

○平成30年度水道事業会計決算

区分	収入決算額	支出決算額
収益的収支	6億7431万円	6億2851万円
資本的収支	3億5611万円	5億7397万円

☆市民一人あたり☆
 ≪約94万966円≫

◎住民基本台帳人口
 36,792人
 (※平成31年3月31日現在)

一般会計歳出346億2001万円は、このように使われました。

※○の数字は、支出の多かった費目順に並んでいます。

①諸支出金 66億7681万円 ⑥土木費 22億1507万円

☆市民一人あたり 18万1,475円
 ・財政調整基金、帰還環境整備交付金基金など

☆市民一人あたり 6万205円
 ・道路、河川、公園整備などに

②衛生費 55億9680万円 ⑦総務費 22億435万円

☆市民一人あたり 15万2,120円
 ・健康づくり、防除対策(ヤスデ駆除等)など

☆市民一人あたり 5万9,914円
 ・職員人件費、各種計画策定など



総合健康診査事業

⑧教育費 19億5610万円

☆市民一人あたり 5万3,166円
 ・学校教育や文化振興などに



ネパールとの交流事業

③農林水産業費 52億5270万円

☆市民一人あたり 14万2,768円
 ・農林業の振興などに



ほ場整備事業(船引町永谷地区)

⑨商工費 13億9076万円

☆市民一人あたり 3万7,801円
 ・産業や観光振興などに



市内観光イベントの開催(あぶくま洞秋まつり)

④民生費 51億3835万円

☆市民一人あたり 13万9,659円
 ・子育て支援、高齢者福祉などに



子育て支援センター

⑩消防費 10億2504万円

☆市民一人あたり 2万7,860円
 ・消防、防災などに

⑪議会費 1億9867万円

☆市民一人あたり 5,400円
 ・議員報酬、議会運営など

⑤公債費 29億4469万円

☆市民一人あたり 8万36円
 ・借金返済などに

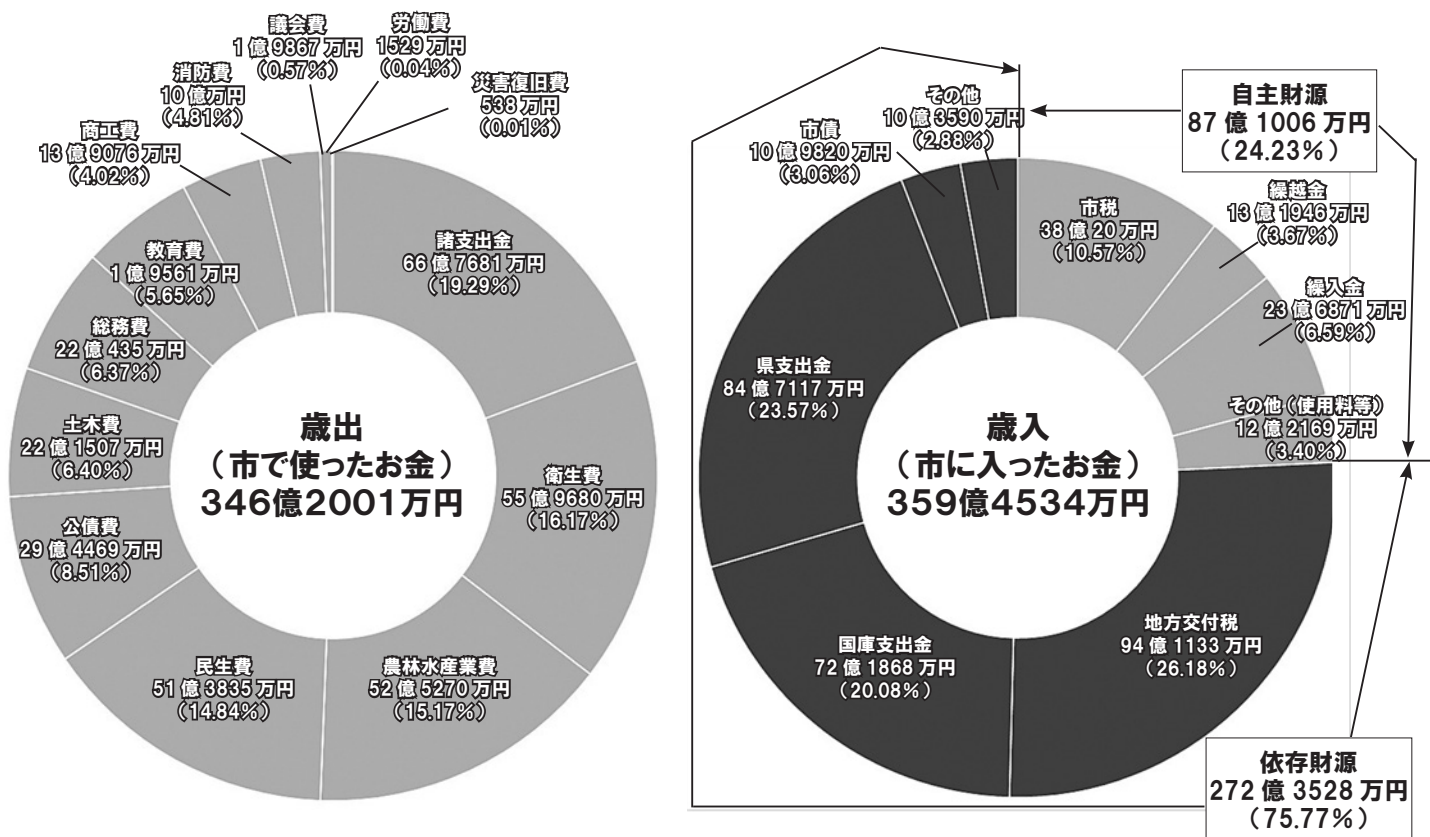
⑫労働費 1529万円

☆市民一人あたり 416円

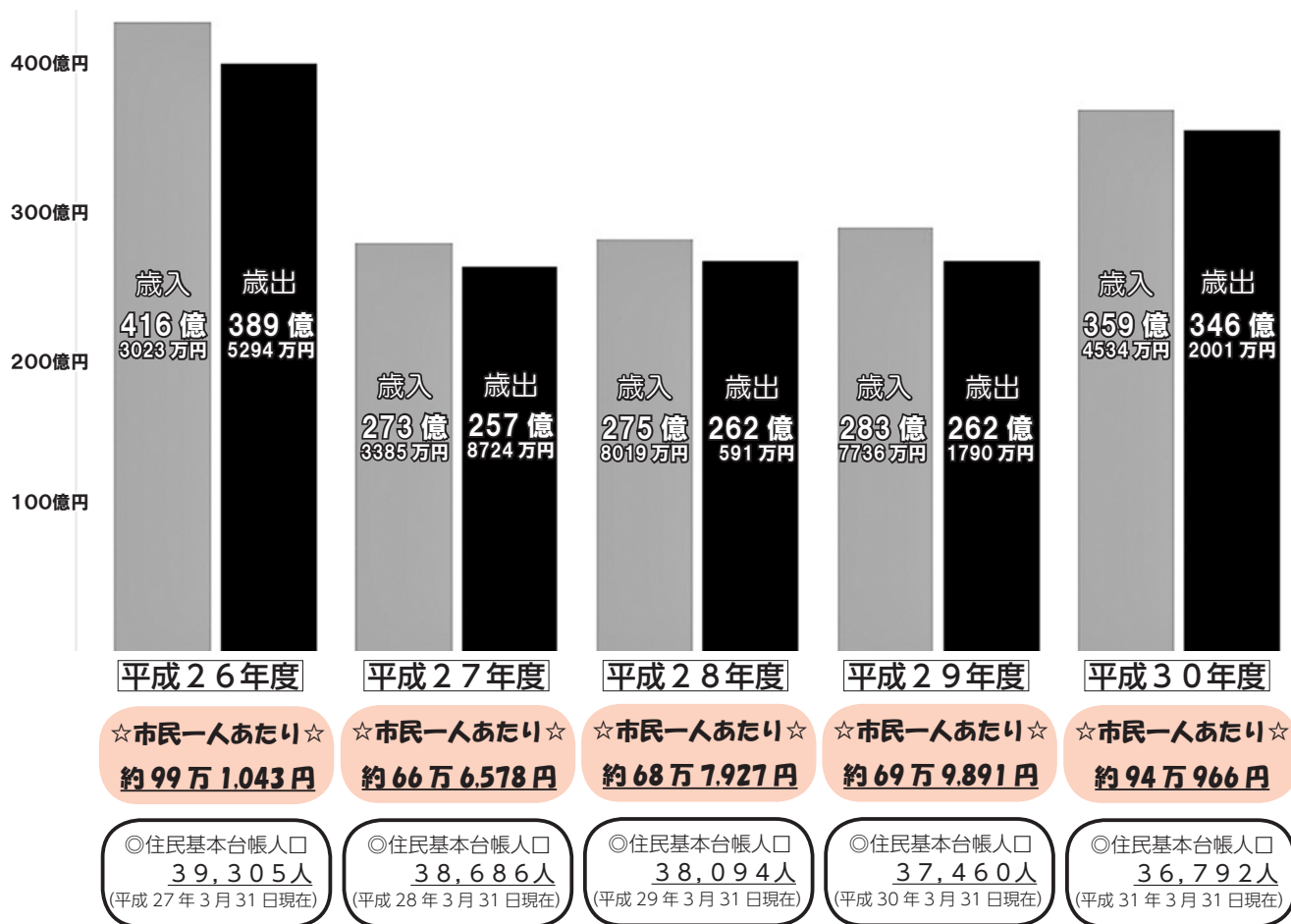
⑬災害復旧費 538万円

☆市民一人あたり 146円

★平成30年度一般会計項目別決算額の割合★



★一般会計過去5年間の決算額の推移★



※市民一人当たりの金額は、歳出総額を住民基本台帳人口で割ったものです。

○決算特別委員会の設置

平成30年度田村市の各会計決算を審査するにあたり、各議員がすべての決算について審査するためのもので、原案のとおり可決しました。

(委員は右表のとおり)

委員長	安瀬 信一
副委員長	白石 勝彦
委員	二瓶恵美子、石井 忠重、白石 高司、佐藤 重実 渡邊 照雄、土屋 省一、大橋 幹一、吉田 文夫 遠藤 正徳、菊地 武司、木村 高雄、照山 成信 半谷 理孝、長谷川元行、猪瀬 明、橋本 紀一

決算特別委員会審査

委員長 安瀬 信一

決算特別委員会には、平成30年度各会計歳入歳出決算認定10件が付託され、原案のとおり認定すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

一般会計歳入歳出決算

問 地方交付税は前年度と比較してどの程度の減額となっているか。

答 (財政課)
29年度に比べ、3億8290万円の減となっています。

問 ふるさと応援寄付金に対する返礼品の率は。また、返礼品の中で希望が多かったものは。

答 (財政課)
返礼品のみで寄付金の48%でしたが、今年度は手数料を含め5割以内で進めています。最も希望が多かったものは米(コシヒカリ)、国産牛となっています。

問 福島交通の路線バスへの補助の目的は。また、利用者数と今後の推移の把握は。

答 (経営戦略室)
JRへの結節点をつくり、公共交通機関に空白地帯ができないようにするためですが、路線バスの利用者は減少しており、デマンドタクシーの活用範囲の拡大も含め、今後の施策の展開を検討します。

問 復興支援員事業について。

答 (経営戦略室)
復興支援員は、昨年度8名の方に委嘱しており、被災地見守りケア、地域おこし活動の支援、復興に伴う地域活動に通じたコミュニティの再構築など地域内の諸活動のバックアップを行ってもらっています。

問 高齢者運転免許証自主返納支援事業の実績と、支援の申請方法は。

答 (生活環境課)
昨年10月から実施しており、JRのsuica、福島交通、らくらくタクシー、デマンドタクシーに関して1人あたり5,000円分を18名に交付しています。この支援の申請方法は、警察署もしくは免許センターにて免許証を返納すると発行される「申請による運転免許の取消証明書」もしくは「運転経歴証明書」を持参のうえ、市役所で申請していただくようになります。

問 防犯灯のLED化の進捗率と、電気料金の削減率は。

答 (生活環境課)
昨年度は滝根・大越、今年度は都路・常葉、来年度は船引を予定しています。LED化による電気料金は、今までの6割から7割削減になります。

問 橋梁点検結果ならびに点検により修繕が必要となる橋梁の数は。

答 (建設課)
橋梁点検を実施した橋の数は349橋あり、そのうち健全が24橋、ほぼ健全が288橋、構造物の構造に支障が生ずる可能性があるものが37橋で、修繕が必要な橋梁は令和4年度までに修繕を完了する予定です。

問 はやま農場が完成となるが、年間の売り上げはどのくらい見込んでいるのか。また、地元雇用はあるか。

答 (農林課)
18億6000万円の売り上げを見込んでおり、地元雇用人数を80人程度予定しています。

問 教師用パソコン・教育用タブレットのレンタル期間と導入による教育効果は。

答 (学校教育課)
パソコンは5年間、タブレットは3年間のレンタル期間となっています。性能もよく、教育効果、公務効率ともにあがっています。



委員会審査状況



9月定例会のあらまし

令和元年9月定例会は9月2日から9月20日までの19日間にわたって開かれました。

本田市長より条例の制定、条例の一部改正、令和元年度各会計補正予算、平成30年度各会計決算認定などの議案が提出され、すべて原案のとおり可決されました。また、議員発議による意見書提出の議案（地方財政の充実・強化を求める意見書）が提出され、原案のとおり可決されました。

○高齢者生活福祉センター条例の一部改正

高齢者生活福祉センターみどり荘での高齢者居住サービス事業を再開するため、居住者の定員数や対象収入による利用料の階層区分を改めるための一部改正であり、原案のとおり可決しました。



みどり荘

○殿上観光牧場条例の一部改正

バンガローの老朽化に伴う施設の廃止及び新たに整備したバーベキューデッキ施設の利用料を設定するための一部改正であり、原案のとおり可決しました。



バーベキューデッキ

○土地の取得

田村東部産業団地の整備に係る用地の一部とパークゴルフ場の整備に係る用地として、それぞれ下表の面積を取得するものであり、原案のとおり可決しました。

事業名	田村東部産業団地	パークゴルフ場
取得内容		
所在地	常葉町山根地内	船引町柵山地内
地積	130,077.10㎡	36,639.64㎡
取得価格	1億5633万6590円	3969万5515円



東部産業団地整備予定地

〇〇 請願・陳情審査結果 〇〇

9月定例会において、陳情2件が審議されました。

陳情

○地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情について 【採択】

陳情者 日本労働組合総連合会福島県連合会田村地区連合会 議長 白岩 進一郎

○幼児教育・保育の無償化の実施に伴う陳情書 【継続審査】

陳情者 福島県保育連絡会 代表 大宮 勇雄

〇令和元年度補正予算

令和元年度一般会計補正予算、各特別会計及び各企業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決しました。予算額については、次のとおりです。

〇一般会計補正予算

補正額（補正後予算総額）	補正の主な内容（歳出）	
	事業名	補正額
9億9544万3千円増 (340億6071万2千円)	道路改良舗装事業	1億7610万0千円
	林業専用道整備事業	9590万0千円
	船引清掃センター解体事業	7040万0千円
	常葉幼稚園（旧西向小学校校舎）改修事業	1800万0千円
	デジタルマーケティング・シティプロモーション事業（※1）	1500万0千円
	あぶくま洞インバウンドプロジェクト	830万0千円
	消防団車庫新設事業	760万0千円

〇各特別会計補正予算

会計名称		補正額	補正後予算総額
特別会計	国民健康保険	1541万8千円	39億9227万3千円
	介護保険	1億9630万8千円	47億6110万8千円
	後期高齢者医療	49万9千円	4億129万9千円
	滝根町観光事業	1791万7千円	5億8971万7千円
	農業集落排水事業	20万0千円	2720万0千円
	授産場事業	▲780万0千円	5920万0千円
	診療所事業	319万0千円	2億2849万0千円

〇各企業会計補正予算

会計名称		補正額	補正後予算総額
水道事業	収益的収入	▲118万2千円	6億6081万8千円
	収益的支出	▲118万2千円	6億6081万8千円
	資本的収入	110万0千円	3億1110万0千円
	資本的支出	110万0千円	5億6960万0千円
公共下水道事業	収益的支出	618万1千円	5億7818万1千円
	資本的収入	1695万0千円	3億9439万1千円
	資本的支出	▲69万0千円	5億5540万0千円

※1 電子デバイスやインターネットを利用して、地域再生や観光振興など、地域の売り込みや自治体の知名度を向上させる活動。

代表・一般質問

市政を問う！！

3名の方が代表質問、11名の方が一般質問しました。

市政全般について質問することが代表質問、様々な課題等について詳細に質問することが一般質問です。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。ここでは、全質問項目（下表）を議員ごとに掲載しておりますので、ご覧ください。

市政全般	代表	平成30年度決算について	菊地 武司議員	P10
		平成30年度決算について	土屋 省一議員	//
		田村広域行政組合脱退にかかわる経費について	白石 高司議員	P11
		次期「田村市総合計画」について	//	//
	一般	本田市政2年半について	白石 勝彦議員	P12
		国民健康保険について	木村 高雄議員	P15
市長報酬について		半谷 理孝議員	P16	
まちづくり	代表	包括連携協定について	菊地 武司議員	P10
		SDGsへの取組について	土屋 省一議員	//
	一般	道の駅候補地について	二瓶恵美子議員	P13
		公共工事の残土処理について	半谷 理孝議員	P16
保健・福祉	一般	児童虐待について	安瀬 信一議員	P13
		インフルエンザ予防接種助成制度の成果について	二瓶恵美子議員	//
		「田村市受動喫煙の防止に関する条例」制定後の状況について	//	//
		子育て支援について	渡邊 照雄議員	P14
		市民病院について	佐藤 重実議員	//
		ひきこもり対策について	木村 高雄議員	P15
		市役所施設内の喫煙所設置について	照山 成信議員	//
		健康支援について	半谷 理孝議員	P16
産業・観光	代表	観光行政について	菊地 武司議員	P10
		産業団地の現状と課題について	土屋 省一議員	//
	一般	田村東部産業団地関連の国道・県道の整備について	吉田 文夫議員	P11
		林業施策について	石井 忠重議員	P12
		田村市観光ビジョンと情報発信について	白石 勝彦議員	//
		木質バイオマス発電の安全確保について	//	//
		耕作放棄地対策について	照山 成信議員	P15
		農林業の振興について	石井 忠治議員	P16
		市内観光施設の新たな開発と更なる充実について	//	//
		市内サマーイベントの実態と課題について	//	//
安心・安全	一般	ため池整備について	石井 忠重議員	P12
		井戸ボーリングの補助について	安瀬 信一議員	P13
		消防・防災について	渡邊 照雄議員	P14
		防災拠点建築物の耐震診断結果について	佐藤 重実議員	//
教育	一般	教育振興策について	吉田 文夫議員	P11
		全国学力学習状況調査の結果について	石井 忠重議員	P12
		2020小学校プログラミング教育について	安瀬 信一議員	P13
		教育行政について	渡邊 照雄議員	P14
		スクールバスの有効活用について	佐藤 重実議員	//
		教師の日推進について	照山 成信議員	P15

※代表質問や一般質問の欄にQRコードが掲載されています。スマートフォンなどで読み取ると、YouTubeの録画映像にアクセスできますのでご活用ください。



至誠会
土屋 省一議員

決算余剰金額の用途は。

基金への積立や市のPRに活用します。



平成30年度決算について

- 問 ①決算状況と次年度の予算編成は。
②決算剰余金額とその用途は。

答 (総務部長)

①すべての会計で黒字となり、一定の財政健全性を保っています。令和2年度の予算編成は、合併の優遇措置終了により普通交付税が更に減少するため、実績に基づいた精度の高い予算を編成します。
②平成30年度の実質収支は6億8170万310円です。うち3億5000万円は減債基金へ積立し、残りは病院建設基金や田村市の魅力をPRする事業等へ活用します。

産業団地の現状と課題について

- 問 ①本年5月完成の田村市産業団地の現状と課題は。
②東部産業団地の進捗状況並びに課題は。

答 (市長)

①現在、計3社で5区画が決定し、残り2区画について複数の企業と交渉中ですが、津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金の来年度以降の存続が不透明なため、国に要望してまいります。
②用地取得契約が完了し、本年度下半期には造成工事に着手の予定です。進出企業については、現時点での概略面積や造成完成時期等の計画をもとに交渉を進めています。



田村市産業団地

SDGsへの取り組みについて

- 問 持続可能な開発目標（SDGs（※2））に対しての考えと方針は。

答 (総務部長)

田村市の諸問題の解決にも貢献し、市の持続可能性を高めるものと考えます。こおりやま広域圏でのSDGsを推進する連携事業に参画することで主体的なまちづくりに取り組んでまいります。

市内5大夏祭りの課題は。

共通して資金確保が挙げられます。



市民net たむら
菊地 武司議員

平成30年度決算について

- 問 財政状況の評価検証は。

答 (市長)

「実質公債費比率」は、前年度より0.5ポイント増の8.0%となりましたが、合併当初と比較しても改善されていることから、今後も比率改善を図ります。「将来負担比率」は、前年度より18.3ポイント減の12.2%に改善され、合併後としては最良の値を示しています。「経常収支比率」は、前年度から0.4ポイント増の91.6%となりましたが、財政計画で見込んだ93.7%を下回る比率で決算することができました。

包括連携協定について

- 問 協定の締結内容と締結先は。

答 (総務部長)

これまでに、株式会社JR東日本企画と地域商品の消費拡大、地域ブランドや地域観光の振興について、株式会社デンソー福島とスポーツ交流による青少年健全育成と健康づくり、地域商品の消費拡大についてなど8件の包括連携協定を締結しています。

観光行政について

- 問 ①市内5大夏祭りの人出と課題は。
②滝根観光振興公社と常葉振興公社の統合について。

答 (産業部長)

①来場者数は、都路灯まつりが6,000人、鬼の里納涼夏祭りが3,000人、ときわ盆フェスタが3,800人、ぐるぐるめぐる交流フェスタが9,900人、灯籠流しと花火大会が39,500人と発表されています。各祭りに共通する課題としては、資金の確保が挙げられることから、地域や関係団体と協議しながら、支援の方向性を検討します。
②震災後の入込客数の減少により、厳しい運営が見込まれ、今後、組織の再編成や業務の縮小などを検討します。なお、DMO組織の設立を視野に入れた両公社の統合も一つの方法であると認識しており、観光等を巡る動向等を見据え検討を進めます。



灯籠流しと花火大会

※2 2030年を期限とする17の目標と169のターゲットで構成された、先進国を含む国際社会全体の開発目標のこと。



吉田 文夫議員

遊休施設の企業とのマッチングは。

事業者の活用ニーズにより利活用します。



教育振興策について

問 ①都路地区幼・小・中連携推進事業について。
②遊休教育施設に係る自治体と企業のマッチングは。

答 (教育長)

①現在、都路地区こども園・小学校・中学校の3校園では、次の3つのプロジェクトを基本に連携を推進しています。プロジェクト1.「学力の向上」では、授業改善、読書指導など。プロジェクト2.「キャリア教育の充実」では、地域の歴史・文化・伝統・産業の探究活動など。プロジェクト3.「特色ある教育活動の推進」では、外部講師を活用した健康教育や情報モラル教育などを実施しています。
②廃校施設などの積極的な利活用を図るため、「田村市遊休公共施設等利活用促進条例」を制定し、一定の条件のもと、奨励措置を講じています。それにより、民間企業などへの情報提供や公募を図り、希望事業者の活用ニーズのマッチングを行い、利活用を推進します。

田村東部産業団地関連の国道・県道の整備について

問 ①国道288号の常葉・都路間の狭隘箇所の拡幅と整備は。
②東部産業団地の産業道路と県道野川線の整備促進は。

答 (市長)

①これまでに県中建設事務所との「まちづくり意見交換会」などで、要望を行っていますが、早急な事業化が難しいため、当面は路面補修などにより安全確保に努めていると伺っています。今後においては、東部産業団地の造成に伴う交通事情の変化を強く訴え、引き続き県へ要望を行います。
②産業団地共用後の大型車等の交通量の増加や、産業団地内へのアクセスを考慮し、関連する4路線の全線または一部を産業団地の造成に合わせて、拡幅改良する計画です。



国道288号狭隘箇所

その他
・介護保険について
質問を行いました。

ごみ処理のための経費の算定は。

現状ではお示しできません。



声をきく会
白石 高司議員

田村広域行政組合脱退にかかわる経費について

問 香川県三豊市の「トンネルコンポスト方式(※3)」や埼玉県の間民間企業によるリサイクル率97%などの新しいごみ処理技術が開発されている中、今後の市ごみ処理のための経費の算定は。また、脱退することによる経費負担と従前の経費負担との対比は。

答 (副市長)

田村広域行政組合が担ってきた事務の存続・承継について、それぞれの担当部署において調査・検討を進めていますが、多くの事務で組合の財産処分の協議が整わないと、市としての方針も決定できない状況にあります。こうした中、8月1日に、組合解散に係る会議が開催され、具体的な検討や協議が始まったところであり、ごみ処理等を含め、現状で経費負担はお示しできません。今後、協議が進展し、財産処分に関する具体策がまとまり次第、議会にもお示しします。



東部環境センター

次期「田村市総合計画」について

問 次期計画について、「市民の安全と防災減災」の基礎のもと、「産業発展」、「教育の充実」、「高齢者対策」や「少子化対策」などの施策を柱とし、屋根の部分を「市民の安心と幸せ」とする考えは。

答 (総務部長)

次期計画については、令和2年度から3年度での策定を計画しており、現時点においてお示しできるものではありません。

その他
・財政状況について
質問を行いました。

※3 燃やせるごみ(混合ごみ)を発酵・乾燥させることにより、固形燃料としてリサイクルするごみの処理方法。



白石 勝彦議員

燃料チップの確保は。

安定供給に向け協議を進めています。



本田市政2年半について

問 職員の大幅削減の結果・実績と市民サービスへの功罪、行政局への権限移譲、今後の改善計画は。

答 (市長)

大幅な削減を図って半年足らずですので、実績といえるほどの成果・業績は表れていません。市民サービスへの功罪ですが、この半年間でサービス低下を招いた事象は確認しておらず、その質の維持は図られているものと考えています。行政局への権限移譲については、段階的に本庁へ業務の集約を図っており、行政局に権限移譲したことはありません。今後の改善計画については、それぞれの施策を着実に実行し、持続可能な田村市の実現に努めます。

田村市観光ビジョンと情報発信について

問 こども議会で提案のあった、大人から子供まで楽しんで遊べる場所の実現性と予算化は。

答 (産業部長)

施設の建設及び維持、運営には詳細な計画の策定が必要となりますので、引き続き既存観光施設のリニューアルを含め検討し、計画策定後に予算化を図ります。

木質バイオマス発電の安全確保について

問 ①モニタリング箇所とチェック工程及び4月の地域協議会に出た課題と進捗状況は。

②森林間伐材不足の中、燃料チップの確保はどうするのか。

答 (大越行政局長)

①第1回地域協議会で意見のあった放射線量の測定方法については、9月下旬開催予定の第2回地域協議会で事業者から提案されると伺っており、その他の件も含め、地域協議会で合意が得られた事項について、事業者が順次公表することとしています。

②燃料チップは、供給に協力する木材事業者等9社で構成する「株式会社田村バイオマスエネルギー協力会」が8月に発足し、安定供給に向けた協議を進めていると伺っています。



第2回地域協議会

ふくしま森林再生事業の進捗状況は。

522haが終了しています。



石井 忠重議員

ため池整備について

問 ため池の機能を果たしていない箇所への対応は。

答 (市長)

ため池の維持管理については、受益者が行うことが原則ですが、技術面や作業量などの理由で管理が出来ない場合には、必要に応じて個別に対応を検討します。

林業施策について

問 ①ふくしま森林再生事業と林業専用道整備事業の進捗状況は。

②森林経営管理法制定による市の取組状況と事業執行上の課題は。

答 (産業部長)

①ふくしま森林再生事業は、約1010haの計画目標のうち、昨年度までに522haが終了しています。林業専用道整備事業は、4路線の開設整備を予定しており、3路線の測量設計を完了しています。

②本年度は、国で示すメニューの中から、森林整備に向けた対象森林の抽出作業等の事前準備作業について、業者に委託する予定です。課題は、対象となる森林は悪条件地がほとんどで、受託希望者となるべき林業経営者が現れないことが懸念されます。



整備された森林

全国学力学習状況調査の結果について

問 市内の小・中学校の各教科の結果は。

答 (教育長)

全国の平均正答率を100とした指数の場合、小学校6年生の国語は108.2、算数は99.1、中学校3年生の国語は100.3、数学は95.3、英語は92.3でした。

その他

・心の指針、行動の指針策定の意図や今後の活用について質問を行いました。



二瓶恵美子議員

喫煙所の補助金返還は。

判明次第、対応します。



インフルエンザ予防接種助成制度の成果について

- 問** ①昨年度の助成金額は。
②65歳以上と児童生徒の比率は。
③市内感染者数、学校閉鎖等の状況は。

答 (保健福祉部長)
①助成金の総額は986万7,470円です。
②助成を受けた方の比率は、65歳以上の高齢者が57.4%、15歳以下の子供が53%です。
③田村医師会の医療機関を受診した市内のインフルエンザ感染者は1,732人、学級閉鎖の状況は4小学校で8日間、13学級です。

道の駅候補地について

- 問** 笹山地区を選定した経緯と決定理由は。
答 (市長)

候補地は、国道288号バイパス沿線で経済性、交通のアクセス性、空間形成、防災拠点、周辺環境、敷地の拡張性、道路に接する間口や地形、盛土高などを総合的に勘察した結果、船引町笹山字大畑地内を適地として選定いたしました。



道の駅整備予定地(船引町笹山字大畑地内)

「田村市受動喫煙の防止に関する条例」制定後の状況について

- 問** 補助金で設置された喫煙所の数と補助金返還の有無は。
答 (保健福祉部長)
国の受動喫煙防止対策助成金を活用して設置した喫煙所は、スカイパレスときわ、あぶくま洞、星の村ふれあい館の3か所です。補助金の返還要否については、現在、国へ照会しておりますが、判明次第、対応してまいります。

その他

・市内観光、五大夏祭りについて質問を行いました。

井戸ボーリング補助の申込件数は。

8月21日現在で77件です。



安瀬 信一議員

児童虐待について

- 問** ①子供のSOSをどの様にして得ているのか。
②相談と支援体制はどの様になっているか。
③乳幼児健診未受診や未就園児の安全確認は。

答 (保健福祉部長)
①保育所、幼稚園、学校からの情報や子供の泣き声や放置など近隣住民からの通報を受けています。
②家庭児童相談員が訪問するほか、要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関で情報を共有し支援する体制になっています。
③未受診の乳幼児に対しては、電話や訪問で受診を促しています。また、未就園児は訪問等により安全を確認しています。

2020小学校プログラミング教育について

- 問** ①教育委員会の今までの取組みと今後の計画は。
②前倒し実施は可能か。
答 (教育長)

①これまで、慶応大学と連携し、ドローンを活用したプログラミング教育(※4)の出前講座を実施したほか、教員向け研修会を実施しています。次年度以降も教員向け研修を継続する計画です。
②前倒し実施可とされており、学校による違いはありますが学習時間やクラブ活動で実施しています。



慶応大学の出前講座

井戸ボーリングの補助について

- 問** ①申し込み件数と助成金額は。
②当初計画から補正の必要性は。
答 (市長)

①8月21日現在で、滝根1件、大越2件、都路11件、常葉11件、船引52件で合計77件。助成金額は1630万円の見込みです。
②当初40件分、800万円を予算措置しましたが、春先の異常渇水の影響で申込が増加したため、追加の件数を60件と見込み予備費から1200万円を充当したところ です。

※4 コンピュータープログラムを通して、論理的な思考やITに強い人材の育成を目的とした、2020年からの小学校での必修科目。



市民病院開設後、市民の反応は。

的確には把握していません。



佐藤 重実議員

市民病院について

問 ①市民病院開設後の市民の反応と利用状況は。
②今後の課題と取組みは。

答 (市長)

①市民の反応を的確に把握していませんが、7月分の診療実績は、外来患者延数が2,650人、前年同月との対比で250人の増となりました。また、入院患者については、8月から受入を開始し、現在7人が入院しています。

②今後の受診実態や病院機能・体制などから見えてくるさまざまな課題等を医師・医療スタッフなどと緊密に連携し、解決に向け取り組みます。また、今後建設予定の新病院や新病院を核とした医療環境の整備も推し進めます。

スクールバスの有効活用について

問 ①バスの配置及びコース見直しの状況は。
②美山地区を通過するバスの有効活用は。

答 (教育部長)

①スクールバスは、滝根4台、大越4台、都路5台、常葉6台、船引12台の計31台を配置しています。コースについては、本年3月に設置した「通園・通学のあり方に関する検討委員会」で、運行基準やコースなどを検討しており、来年度からの運用を目指しています。

②美山地区に限らず、市内全域の課題として捉え、「通園・通学のあり方に関する検討委員会」で提言される運行基準に照らして判断します。

防災拠点建築物の耐震診断結果について

問 常葉体育館と七郷地区公民館を災害時の避難所として活用する考えは。

答 (市民部長)

両施設とも、田村市地域防災計画の策定当初から避難場所としており、耐震性が確保されていることから、引き続き、避難場所として位置付けます。



常葉体育館

その他

・市職員の働き方改革について質問を行いました。

団員減少による今後の消防組織は。

環境の整備や実情に応じ対応します。



公明党
渡邊 照雄議員

消防・防災について

問 ①団員減少による今後の消防組織は。
②住宅用火災警報器の設置率と対策は。

答 (市民部長)

①4月1日現在の消防団員は、1,412人の定数に対して1,386人で充足率は98.2%です。今後は若い人が入団しやすい環境を整えるとともに、地域の実情に応じた団員や車両の配置を進めます。

②住宅用火災警報器の設置率は6月末現在で79.7%であり、県全体の74.6%を上回っています。引き続き、広報紙やホームページにより啓蒙するとともに、消防団の個別訪問により設置を促す活動を続けます。

教育行政について

問 「7日でチャレンジ!食品ロスダイアリー」の活用計画は。

答 (教育長)

児童生徒の家庭での食生活に対するプライバシーに配慮しながら有効活用するよう、各校への周知を図ります。

子育て支援について

問 ①ブックセカンド事業(※5)への取り組みは。
②低出生体重児向け母子手帳作成に考えは。

答 (市長)

①保育所や幼稚園で読み聞かせやお話し会など、本に親しむ機会を設けていますが、現在策定中の第3次田村市子ども読書活動推進計画とあわせて検討します。

②低出生体重児家庭への訪問による直接的な支援や育児情報の提供を行っており、新たな母子手帳の作成は考えていません。



絵本の読み聞かせ

その他

・地域おこし協力隊について
・県道の改良及び改善について
質問を行いました。

※5 0歳児に絵本を贈る「ブックスタート」に次ぎ、3歳児以上に2冊目、3冊目の絵本を贈る事業。



照山 成信議員

耕作放棄地に対する具体的な対策は。

各種事業により発生抑制に努めます。



耕作放棄地対策について

問 ①5年後、10年後の耕作放棄地の推計は。
②推計に対する具体的な対策は。

答 (産業部長)

①2015年農林業センサスでは、市内の耕作放棄地面積は2005haと、2010年の耕作放棄地面積1399haと比較して1.4倍、2005年の耕作放棄地面積1210haと比較して1.6倍となっており、原発事故の影響、農業者の高齢化や担い手不足により5年後、10年後はさらなる耕作放棄地増加が懸念されます。

②市単独事業として、遊休農地を解消する取り組みに対し、10aあたり2万円を助成する制度の利用促進を図り、耕作放棄地解消に向け支援していきます。また、ほ場整備事業の推進とともに、担い手確保対策、6次化推進及び換金性の高い作物の栽培支援など、耕作放棄地の発生抑制に努めます。



耕作放棄地解消農地 (常葉町陣場地区)

市役所施設内の喫煙所設置について

問 ①喫煙所設置の考えは。
②喫煙者の人格・人権に対する考えは。

答 (市長)

①市役所をはじめとした公共施設においては、受動喫煙を望まない多数の市民が利用することから、不用意な受動喫煙を生じさせないため、敷地内に喫煙所は設けない考えです。

②喫煙所を設けないことについては、受動喫煙を望まない、たばこを吸わない方の権利にも配慮し、公共施設とそれ以外の場所における喫煙者との棲み分けを意図したもので、喫煙者・非喫煙者双方の権利を反映していると考えています。

教師の日推進について

問 教師の日推進委員会の設置は。

答 (教育長)

「世界教師の日、10月5日」の設定を指示し、2年目となる現段階では、この推進状況を見守っていきたくと考え、推進委員会の設置は時期尚早と考えています。

市のひきこもり実態把握は。

他自治体の動向を踏まえ検討します。



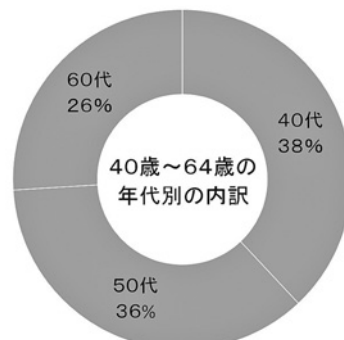
日本共産党
木村 高雄議員

ひきこもり対策について

問 内閣府の40歳から64歳までを対象とする「ひきこもり」の調査では、推計で61万人とされ、対応が急務となっており、市でも実態を把握すべきと思うが、市の考えは。

答 (市長)

全国の自治体のうち独自の調査を行っているところは約7%で、ほとんどの自治体で十分に把握しておらず、田村市もその一つです。ひきこもりを防ぎ、ひきこもりから自立する支援策を検討するためには、実態調査が必要と考えますので、今後、他自治体などの動向を踏まえ、具体的な施策を検討します。



「ひきこもり調査」の年代別の割合

国民健康保険について

問 ①国民健康保険は「社会保障の役割を果たさなければならない」ということに対する見解は。
②子供(18歳未満)に係る均等割額の全額免除を実施すべきでは。また、子供の均等割全額免除に要する予算は。

答 (市民部長)

①国民健康保険における社会保障の役割は、生活の上での様々な危険に対し安定した生活を保障するための社会制度として、掛金を拠出し合うなど、相互扶助の側面を有した社会保障制度の一つであると認識しております。

②子供の均等割額の全額免除に伴う減収分は、国からの財政支援がないことから、免除に係る減収分を法定外の一般会計繰入金などに転嫁することになります。このことは、子供のいない世帯の負担増につながることから、公平性の観点から実施の考えはありませんが、今後も機会を捉え国などに要望します。また、均等割全額免除を実施した場合は、1412万1,900円の予算が必要となります。

その他
・市道の改良について
質問を行いました。



松山高原の魅力アップの取組みは。

魅力を向上させる整備を検討します。



石井 忠治議員

農林業の振興について

問 ①市の振興作物の栽培実態と支援策並びに今後の振興策は。

②県オリジナル水稲品種「福島40号」及び「福島酒50号」の市での導入に向けた取組みと課題は。

答 (産業部長)

①昨年度実績で、トマト1097a、ピーマン1223a、エゴマ404.7a、ホップ82a、そば3000a、さつまいも140aです。支援策はトマトやピーマンなどへの自動かん水設備など各種補助事業を活用し支援しています。

②それぞれの品種に係る栽培適地や登録要件を満たす農家等について、情報を整理し、今後の方策について検討します。

市内観光施設の新たな開発と更なる充実について

問 松山高原の魅力アップのための補完工事と展望台新設などの取組みは。

答 (市長)

震災後、管理が不十分であり、景観が損なわれていることから、本定例会に池の除草業務の補正予算を提案しています。また、今後、雑木等の伐採を予定しており、以前の美しい景観の確保に努めながら、魅力を向上させる施設整備を検討します。



松山高原

市内サマーイベントの実態と課題について

問 観光客の参加型への転換により誘客数拡大を図ってはどうかと思うが、今後の取組みは。

答 (産業部長)

夏祭りへの参加型メニューは、平成29年度から路灯まつりでツリーライミング体験会や竹灯づくりワークショップの実施、船引の灯籠流しでは、流し踊りを復活させ、踊りへの参加を図ったところです。今後においても、参加型メニューの導入・充実を図り、誘客に繋げていきたいと考えています。

その他

・教育行政の課題と解決に向けた取組みについて質問を行いました。

健康支援の長期計画等の対応は。

ライフステージに合わせ支援しています。



半谷 理孝議員

市長報酬について

問 公約による3割カットの見直しは。

答 (市長)

市長就任後、一昨年7月から施行しており、今後の見通し予定については、任期の折り返しに当たること、また、社会経済情勢にも変化があることなどから、本年度中に報酬等審議会を開催し、その検証も踏まえた形で提案したいと考えています。

公共工事の残土処理について

問 ①残土処理の規定及び市の指示の在り方は。

②残土の公的活用の事例と今後の有効活用は。

答 (建設部長)

①公共工事で発生した残土処分の規定等は定めていませんが、山砂などの良質な土砂は、別工事での利活用が図れないか事前に調整や検討を行っています。また、再利用できない場合は、工事請負業者へ処分できる民有地の探索を依頼しています。

②最近の事例では、田村スマートインターチェンジの残土を田村市産業団地の造成工事へ活用しました。今後の予定は、現在、県で実施している国道288号船引バイパスの残土を、市民病院や道の駅の敷地造成工事などに利用できるよう、調整や検討を進めています。

健康支援について

問 ①健康支援の実状及び長期計画等の対応は。

②健康への意識改革について、学校、家庭、社会に対するソフト面での取組みは。

答 (保健福祉部長)

①健康づくりを推進するにあたり、禁煙を推奨しています。また、健康支援の指針となる健康増進計画を策定し、乳幼児期、成人期などライフステージに合わせた施策を行っています。

②乳幼児をもつ保護者へは、良い生活習慣が健康の基本となることの啓発を。学校では、栄養バランスを考えた食事のとり方などを。成人期には、栄養指導、健康教室など、年間を通してあらゆる機会に啓発を行っています。



健康増進教室

各常任委員会活動報告

議案3件を審査し、すべて可決すべきものと決定

総務文教常任委員会

委員長 半谷 理孝

6月定例会委員会審査

総務文教常任委員会には、条例の制定1件、条例の一部改正1件及び土地の取得1件の議案が付託され、原案のとおり可決すべきものと決定されました。また、陳情1件の審査も行われ、審査の結果、採択すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

問 農地利用最適化業務活動に対するこれまでの加算額の支給実績は。

答 (総務課)
平成30年度は、20名に対して支給しており、総額で10万5,000円が支払われています。

陳情の審査結果

「地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情書」は、子育て支援策の充実や医療・介護などの社会保障への対応など地方自治体の役割が増大する一方、地方公務員などの公的サービスを担う人材に限られる中で、新たなニーズへの対応と、細やかな公的サービスの提供が困難な状況にあることを踏まえ、安定的な行政運営と地方財政の確立、人的サービスとしての社会保障の充実などを実現するため、令和2年度の地方財政計画、地方交付税及び一般財源総額の確保などを図る意見書の提出を求めるものです。審査の過程において、地方交付税や一般財源総額の確保などを図ることは、非常に重要なことであるとの意見が出され、審査の結果、全会一致で採択すべきとの意見が出されました。

土地の取得

問 地目ごとの購入単価は。

答 (生涯学習課)
それぞれ1㎡あたりで、田が1,163円、畑が1,012円、原野が530円、宅地が8,000円、墓地が1,012円で契約しています。



議案7件を審査し、すべて可決すべきものと決定

市民福祉常任委員会

委員長 大橋 幹一

6月定例会委員会審査

市民福祉常任委員会には、条例の一部改正6件、工事請負契約1件の議案が付託され、原案のとおり可決すべきものと決定されました。また、陳情1件の審査も行われ、審査の結果、継続審査すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

高齢者生活福祉センター条例の一部改正

問 大越町の「みどり荘」を再開するにあたり、定員を10名以内とした理由及び施設修繕の必要性は。

答 (高齢福祉課)
部屋数が5部屋であり、対象者をおおむね60歳以上の一人暮らし、または、夫婦のみの世帯としていることから、最大でも10人と想定しています。また、施設の修繕については、エアコンや電磁調理器具等を点検・修繕する必要がある、費用については、すでに当初予算に計上しています。

旧大越衛生処理センター焼却施設解体工事請負契約

問 条件付き一般競争入札の入札業者数及び落札率は。

答 (生活環境課)
入札における応札者は3社で、落札率は、94.7%でありました。

所管事務調査

9月10日に、田村市社会福祉協議会の現状と課題についての所管事務調査を実施しました。



議案3件を審査し、すべて可決すべきものと決定

産業建設常任委員会

委員長 照山 成信

6月定例会委員会審査

産業建設常任委員会では、条例の一部改正1件、土地の取得1件及び市道路線の認定1件の議案が付託され、原案のとおり可決すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

殿上観光牧場条例の一部改正

問 新設されたバーベキューデッキで提供するバーベキューセットの内容は。

答 (観光交流課)

一人当たり2,500円で提供するメニューについては、グリルをはじめ、牛・豚肉、季節の野菜などがセットとなっています。

土地の取得

問 宅地の契約は、住宅の補償も含まれた契約となっているのか。

答 (商工課)

住宅の補償については、土地とは別の契約を結んでいます。

問 パークゴルフ場整備に係る土地の取得との単価の差はあるのか。

答 (商工課)

各事業ごとに不動産鑑定を委託しているため、同額になることはありません。

市道路線の認定

問 田村市産業団地内の景観づくりのため、街路樹などを植栽する考えは。

答 (建設課)

道路の幅員のなかに、街路樹を植栽すると道幅が狭くなるため、植栽する予定はありません。

所管事務調査

9月10日に、船引コミュニティプラザ（2階）の利用状況について所管事務調査を実施しました。



船引コミュニティプラザ

議案10件を審査し、すべて可決すべきものと決定

予算常任委員会

委員長 土屋 省一

6月定例会委員会審査

予算常任委員会には、令和元年度各会計補正予算議案10件が付託され、原案のとおり可決すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

一般会計補正予算

問 船引清掃センター解体工事にあたり、アスベスト・重金属類等が堆積している可能性があるが、化学物質の調査はされるのか。

答 (生活環境課)

施工管理業務委託に科学的な物質等の調査についても含まれています。調査方法については、どういった方法がよいのかを検討しながら進めていきます。

問 船引保育所の建設の工程と完成時期は。

答 (こども未来課)

今年度、保育所・市民病院建設予定地の敷地整備を一体的に行い、来年度中に保育所の工事に入る予定で、令和4年度の開所を目指しています。

問 県道上移常葉線の日陰木伐採事業とは。

答 (建設課)

ヘアピンカーブが続き急こう配であり、冬期間は凍結が続く場所であるため、通行車両等の安全面を考慮して、沿線上の日陰になっている木の伐採を行うことで通行上での安全確保を行うことといたします。

問 旧西向小学校を改修して常葉幼稚園を移転する理由は。

答 (教育総務課)

現在の常葉幼稚園園舎は耐震補強が必要であり、また老朽化により移転が必要となっていることから、昨年度閉校となり空き校舎となっている、旧西向小学校校舎を改修し常葉幼稚園として活用することといたします。



予算常任委員会審査状況

請願・陳情のお知らせ

請願とは、憲法第16条に規定された国民の権利として、公の機関に対して要望を述べる行為で、必ず紹介議員を要しますが誰でも提出することができます。陳情とは、事実上の行為として議員の紹介なしで提出するものです。

○請願（陳情）書の書き方と提出方法

請願書などは、議会事務局へ直接持参してください。なお、定例会開会の5日前（土日祝日を除く）に開かれる議会運営委員会前日午後5時までに受付したものは、当該定例会で審議するかどうかを議会運営委員会で判断しますが、それ以降に受付したものは、次の定例会前の議会運営委員会で審議するかどうか判断することになります。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

※意見書提出を求める場合は、意見書の案文を添付願います。

【記載例】 請願（陳情）書
令和 年 月 日

田村市議会議長 ○○○○ 様

請願者 住所 ○○○○○○○○
(陳情者) 氏名 ○○○○○○ 印
(連絡先) 電話番号 ○○○○○○○○
紹介議員 ○○○○ (署名又は記名押印)

※紹介議員は陳情の場合不要
(件名) ○○○○について

請願（陳情）要旨 ○○○・・・・
請願（陳情）事項 ○○○・・・・



議会事務局からのお知らせ

田村市議会のホームページでは、議会に関する各種情報を公開しています。定例会等の開催日程や会議録など最新の情報をご覧になることができます。

☆議会中継をインターネットにより動画配信しています！！

田村市議会では、インターネットを活用し、本会議中継を動画配信（ライブ及び録画）しております。市のホームページからアクセスしていただくと、代表質問や一般質問などの映像をご覧いただくことができます。

なお、ライブ配信は議会開催中に、録画配信は議会閉会後1週間程度でご覧になることができます。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。



☆市民の声を募集しています！！

議会や市政全般に対するご意見・ご要望など、360字程度で住所、氏名をご記入いただき、顔写真を同封（添付）して持参、郵送、メールにより議会事務局までご寄稿ください。

なお、ご寄稿していただきました原稿について、「市民の声掲載基準」に基づき、掲載の可否を判断いたします。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

☆市政だより、議会だよりをスマホ用アプリ『マチイロ』でご覧いただけます！！

「たむら市政だより」、「たむら議会だより」をもっと多くの皆さんに読んでいただけるよう、スマートフォン用アプリ「マチイロ」を導入しました。この無料アプリをダウンロードすると、いつでもどこでもスマートフォンなどで「市政だより」や「議会だより」を読むことができます。

ダウンロード方法など詳しくは「マチイロ」のホームページをご覧ください！



☆アドレス☆ <http://machihiro.town/>



シリーズ 市民の声



「あふれる自然の力」

田村市都路町
くぼ ゆうじ
久保 優司 さん

森林セラピーが世に出てから、十数年が経ちました。森に人を癒す効果があることは、科学的にも大きく証明されてきました。

田村市は広大な森にあふれています。ここの森は、他所のように大木がない反面、若々しい広葉樹ばかりです。若々しい広葉樹が生い茂る森は、動物や昆虫、微生物が豊富に生息している。つまり、生命に満ち溢れています。森林セラピーにとって、とても理想的な森なのです。全国で、日々痛ましい、悲しい事件が続いています。子供から年配の方まで、生きることの大変さを解消しにくい世の中になったと感じています。

そんな、生きることに疲れた人に田村市の森に来てもらい、生命があふれる森で心身を癒してもらえたら良いと思います。ご先祖様から続く歴史で維持されてきた森が、世のため人のために活かせる場所にできたら素敵だと思っています。



ガブトムシと遊ぶ都会の子ども

シリーズ 若者の声



「気づきを行動に移す力を養う」

船引高校2年生
ほんだ こうだい
本田 航大 さん (常葉町出身)

私の所属しているバスケットボール部では、週3回、朝に学校敷地内とその周辺のゴミ拾いをしています。自分たちの普段使っている場所をきれいにすることで、周囲に対する感謝の気持ちを行動で表そうと思い、やり始めました。

学校周辺には、思ったより多くのゴミが落ちており、それを拾ってきれいにしていくことで、普段生活をしている田村市にも感謝の気持ちを伝えたいと思っています。また、この活動がバスケットボールでも仲間への感謝や、部を支えてくれている方々への感謝につながり、チームプレーの向上につながると考えています。

この活動を始める前までは、道にゴミが落ちていることに気付いても拾うことはありませんでした。活動を通して、気付いたことを行動に移すことが大切で、それはゴミ拾いに限らないと感じています。私たちの行動が田村市をより良くしていくことになると考えています。



部活動の様子

☆12月定例会の開催予定☆

12月定例会は下記の日程で開催される予定です。議会は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。なお、正式には定例会初日に決定されるため、変更になることもあります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

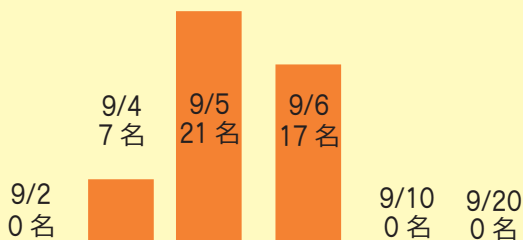
12月2日 (月)	初日 (招集日) 会期の決定、提案理由の説明等議事調査
12月4日 (水)	代表質問
12月5日 (木)	一般質問
12月6日 (金)	一般質問
12月9日 (月)	一般質問
12月10日 (火)	総括質疑、議案等の常任委員会付託 各常任委員会審査
12月11日 (水)	予算常任委員会審査
12月13日 (金)	最終日 各常任委員会審査結果報告、質疑、討論、採決



令和元年9月定例会の傍聴者

議会だよりへのご意見・ご要望をお寄せください！！

9月定例会は、延べ45人の方が傍聴されました。



台風19号により被害を受けられた皆様へ

10月12日から13日にかけて発生した、台風19号の影響により、被害にあわれた地域の皆様に心からお見舞い申し上げます。

また、現在もなお、災害復旧にご尽力いただいております関係者の皆様に、敬意と感謝の意を表します。

市議会としても、市や関係機関と連携を図り、一日も早い復旧に向け取り組んでまいりますので、皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

田村市議会議員 一同

☆田村市議会ホームページアドレス☆

<http://www.city.tamura.lg.jp/site/gikai/>



◆発行責任者：議長 大和田 博
◆編集：議会広報委員会
◆印刷：イシイ印刷